

安曇野市教育委員会だより ふるさと安曇野

基本理念 ◇ すべての人が生涯を通じて学び合い、文化のかおり高い安曇野を目指します。 ◇ からだを動かし、頭で考え、心に感ずる“未来を拓くたくましい安曇野の子ども”を育みます。

災害時に命を守る行動力とは？ ——一人ひとりが自ら考え、判断し、行動できるかが問われる——

教育長 橋渡 勝也

先頃、防災教育について、群馬大学教授の金井昌信さんの講演を聞く機会がありました。金井さんは、子どもたちに「自らの命を自分で守る力」が確かに育っているか、という問いかけをされました。例として示されたのは、予告なしに大地震が起きたという訓練を実施した際の教室掃除の場面でした。映像では数人の子どもたちは中央に固めてあったたくさんの机の中から、奥の方にある自分の机を探してそこへもぐりこもうとしたのです。教室で「地震がきたら、すぐに机の下にかくれる、机の足の上の方をしっかりとにぎる」と指導してきた成果が現れた形です。しかし、解説では、「巨大地震が起きると机やいすは空中を飛ぶこともある。固定されていない物に近づくことは大変に危険だ。できるだけガラス窓から離れて、ロッカーからランドセルを引っ張り出して頭にのせてうずくまるなど瞬時に命を守る判断と行動ができるようにしたい」というお話でした。

状況に応じて柔軟に対応できる力を育む防災教育は、安曇野市が目指す“未来を拓くたくましい安曇野の子ども”の育成につながる大事な機会であると感じました。金井さんの言葉「防災に唯一絶対の正解はない」「あなたに適した対応策はあなたが考えなければならない」「あなたにとっての正解が、他の人の正解とは限らない」が印象に残りました。いつ、どこにいても自分の命を自分で守ることができる行動を瞬時の判断でできるようにするために、日ごろの避難訓練や防災学習を改めて見つめ直したいと思いました。

安曇野市教育委員会 令和8年6月定例会 会議概要

6月25日(木) 議案数、報告数

6月
定例会

(主な議案)

- ・『安曇野市誌』編さん基本方針の見直し及び編集方針の策定について(承認)
- ・安曇野市図書館協議会に係る委員の任命について(承認)
- ・安曇野市議会 令和8年3月定例会における一般質問等について(了承)
- ・安曇野市誌編さん専門調査会(中近世部会)専門調査員の委嘱等について(了承)

次回定例会の予定

・7月定例会 7月31日(金) 午後1時30分から 市役所本庁舎301会議室 申込みなく傍聴できます

令和8年3月の定例会資料を掲載いたしました。令和7年12月市議会の教育部に関する一般質問の抜粋などをご覧ください。👉 [詳細はこちら](#)

総合教育 会議

第1回総合教育会議が開催されました

— 「子どもの権利」の周知・啓発と子どもの意見表明・社会参加の促進について（課題や方向性） —

5月28日に市長・教育長・教育委員が出席し、令和8年度第1回総合教育会議を開催しました。

1 子どもの権利の周知・啓発について

保護者や地域の大人が「子どもの権利」を十分に理解することが大事である。具体的な周知・啓発の提案：部活動地域展開に伴う指導者等への研修、親子で参加できるクイズ形式の活用、学校の授業や公民館の人権教育の活用等。

2 「子どもの意見表明・社会参加の促進」について

これまで実施してきた「子どもの意見ひろば」や「中学生キャリアフェスティバル」は意見表明や社会参加の観点から大きな意義がある。他方、意識の高い子どもが集まると活発に見える、大規模な催しだと気軽に意見が言いにくい等の課題が挙げられました。

3 今後の方向性

これまでも、「子どもの権利」の尊重に関し様々な事業を行ってきましたが、今回の議論をふまえ、子どもたち一人一人の意見をより丁寧に聴きながら各事業を進めていく必要性を再認識しました。家庭・学校・社会で子どもたちが意見を自発的に述べ、子どもたちの主体的な社会参加意識が高まるよう、互いの意識改革と環境づくりを皆さまと一緒に進めていきたいと思います。

子育て支援

安曇野の豊かな自然に育まれる子どもたち —安曇野自然保育—

市内の認定こども園や一部の保育施設では「信州型自然保育認定園」として、その自然環境を生かした「自然保育(信州やまほいく)」を積極的に実施しています。

子どもたちにとっての自然は、何もかもが壮大で感動的です。自然体験を通して、多くの発見と驚きから好奇心や創造力、考える力が育ちます。自然の中で、友達と助け合い励まし合いながら人間関係を学び、互いの違いを認め合い、自己肯定感も高まり前向きな心が育つことを願っています。

認定こども園の様子をご紹介します  [詳細はこちら](#)

社会教育

「誰かのこと」じゃない —すべての人が常に磨きたい「人権感覚」—

現在、様々な人権課題が依然として存在しています。これらは決して、自分以外の「誰かのこと」、「自分には関係のないこと」ではありません。一人ひとりの人権が守られる地域や社会を実現していくために、各区及び団体等から推薦され教育委員会が委嘱した人権教育推進委員の皆様と共に、人権学習会、安曇野から考える人権展の巡回展示、地域公民館での人権通信の発行など、様々な取り組みを進めています。

コミュニティスクール情報を更新  [詳細はこちら](#)
生涯学習広報紙Link春夏号を創刊  [詳細はこちら](#)

注目のとりぐみ

学校教育

変わりつつある小学校の運動会

学校の大きな行事のひとつである運動会は、近年の厳しい暑さを避けて、5月下旬から6月上旬と10月の時期に分散して開催しています。午後の最も暑くなる時間の前には終わるよう、競技種目を精選したり、学年で分けて2部構成にしたりと、それぞれの学校で独自に熱中症対策を行い、児童の身体の負担を気遣いながら開催しています。今年の運動会では、児童の自主性を大事にした取り組みが多く見られました。先生たちは、できるところは子どもたちにゆだね、先生たちは支え、見守りながら“主体性を育もう”と奮闘しています。応援してください。

一斉清掃で外来植物の抜き取り！

5月31日朝、地域の一斉清掃がありました。
ゴミ拾いの途中で、ナガミヒナゲシという鮮やかなオレンジ色をした花を見つけたAさんは、「これは厄介な外来種だ」と、抜き始めました。そして、「種が散らばるから焼却しなければだめだ」と、ゴミの袋に入れました。ほかの人たちも見つけては抜きながら歩きました。しばらく行くと、特定外来生物のアレチウリの芽がたくさん生えている場所にきました。これも抜きながら歩きました。「きれいな花だから残しておいた」「うちの畑にもいっぱいある」「除草剤をまいても種は生きているものだ」など会話が弾みました。家でも子どもを交えて地域のことをいろいろ話題にして、環境に関心を持ち行動を起こす人が増えたら嬉しいと思いました。(ka)

感想やご意見などをお寄せください。

連絡先: 安曇野市教育委員会 教育部 学校教育課 教育総務係
Mail: gakkoukyouiku@city.azumino.co.jp

